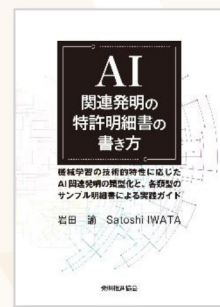


AI関連発明の特許明細書の書き方

～AI関連発明の各類型に対する
クレーム・実施例の書き方～



2025年1月23日(水) 14:00～15:30

受講料

無料

アーカイブ配信も実施（2週間）

聞き逃しても安心！ / 期間内はなんどでも

申込
方法

以下よりお申込みください
http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizai/kenshu_tanki.html#tokubetsu



講座
内容

1. AI関連発明について
2. AI関連発明の特許明細書作成における基本的な考え方
3. クレーム・実施例 ～訓練処理に関する発明～
4. クレーム・実施例 ～推論処理に関する発明～
5. クレーム・実施例 ～生成モデルの利用に関する発明～

講師: 岩田 諭 氏

弁理士法人 鷲田国際特許事務所
弁理士

(講座内容の一部を変更
する可能性があります)

AI関連発明は、機械学習の技術的特性により、「機械学習モデルをどのように訓練するか」に関する訓練フェーズに特徴を有するものと、「訓練済み機械学習モデルを利用して個別のタスクをどのように解決するか」に関する推論フェーズに特徴を有するものとに類型化できていることが知られています。

本セミナーでは、訓練フェーズに関する発明と推論フェーズに関する発明との各類型に対して、どのようにクレーム・実施例を記載したらよいか 1 つのアプローチとして説明します。

また、昨今話題となっているChatGPTなどの生成AIについて、生成モデルの利用に関する発明を一類型として類型化し、生成モデルの利用に関する発明に対してどのようにクレーム・実施例を記載したらよいかについても説明します。

